

学部 / 看護専門領域 / 看護援助の方法 科目コード：130041 公衆衛生看護方法論Ⅲ演習 Practice:Community Health Nursing Ⅲ					
担当教員	阿部 智恵子、塚田 久恵、曾根 志穂、金子 紀子、野川ゆみ、亀田真紀（非）				
実務経験					
開講年次	3年次前期	単位数	1	授業形態	演習
必修・選択	必修	時間数	30		
Keywords	対象別地域看護活動、母子保健活動、成人保健指導、高齢者保健指導、精神保健指導、障害者（児）保健指導、学校保健活動、産業保健活動、難病保健指導、感染症保健活動				
学習目的・目標	【目的】 地域で生活する個人や家族、住民集団に対して、そのヘルスニーズに応じた地域看護活動の展開方法を演習し、援助提供の場に応じた看護職の役割・機能を学習する。 【目標】 ライフサイクルと健康問題ごとに、行政サービスとしての看護援助提供方法を理解する。 ●母子保健活動における展開方法を理解し、看護職の役割・機能を学習する。 ●成人・高齢者保健福祉、精神保健福祉における地域看護活動の展開方法を理解し、看護職の役割・機能を学習する。 ●学校保健の概要、養護教諭の職務内容について理解する。 ●産業の場で働く労働者の生活・労働環境と健康問題と、働く人々の健康の保持・増進を支援する産業看護職の役割と機能について理解する。				
授業計画・内容					
回	内容				
1-3	母子保健活動における展開・保健指導 ・母子保健活動に関わる援助技術 ・健康上のリスクを持つ母子への保健指導				
4-7	高齢者の生活と保健指導（演習）・臨地演習の説明 高齢者単身世帯等への訪問・振り返り・レポート作成				
8-9	成人保健福祉対策と成人期の保健活動・保健指導 ・成人保健活動に関わる援助技術 ・特定健診、特定保健指導の演習				
10-11	学校保健の場における看護職の役割と機能、保健指導他				
12-13	産業保健の場における看護職の役割と機能、保健指導他				
14-15	障害者保健活動に関わる援助技術 精神保健活動に関わる援助技術				
教科書	松田正己著者代表：標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動、医学書院 標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論、医学書院 標準保健師講座2 公衆衛生看護学技術、医学書院 国民衛生の動向（厚生統計協会）最新版				
参考図書等	宮崎美砂子編著：「最新地域看護学 総論」（日本看護協会出版会） 宮崎美砂子編著：「最新地域看護学 各論1」（日本看護協会出版会） 宮崎美砂子編著：「最新地域看護学 各論2」（日本看護協会出版会） 公衆衛生マニュアル（南山堂） 保健師業務要覧（日本看護協会出版会）				
評価指標	●定期試験の受験資格：履修登録をしている＋授業回数の2/3以上出席している ●演習60％、レポート40％で評価する。				
関連科目	公衆衛生看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、公衆衛生看護学実習、公衆衛生学、母性看護学、小児看護学、老年看護学、精神看護学の各科目				
教員から学生へのメッセージ	ここでは、公衆衛生看護方法論Ⅲで得た知識や技術を基本にして演習を行います。ここで学ぶ内容は、公衆衛生看護実習の基礎となる内容であり、意欲的に取り組んでほしいと思います。				